

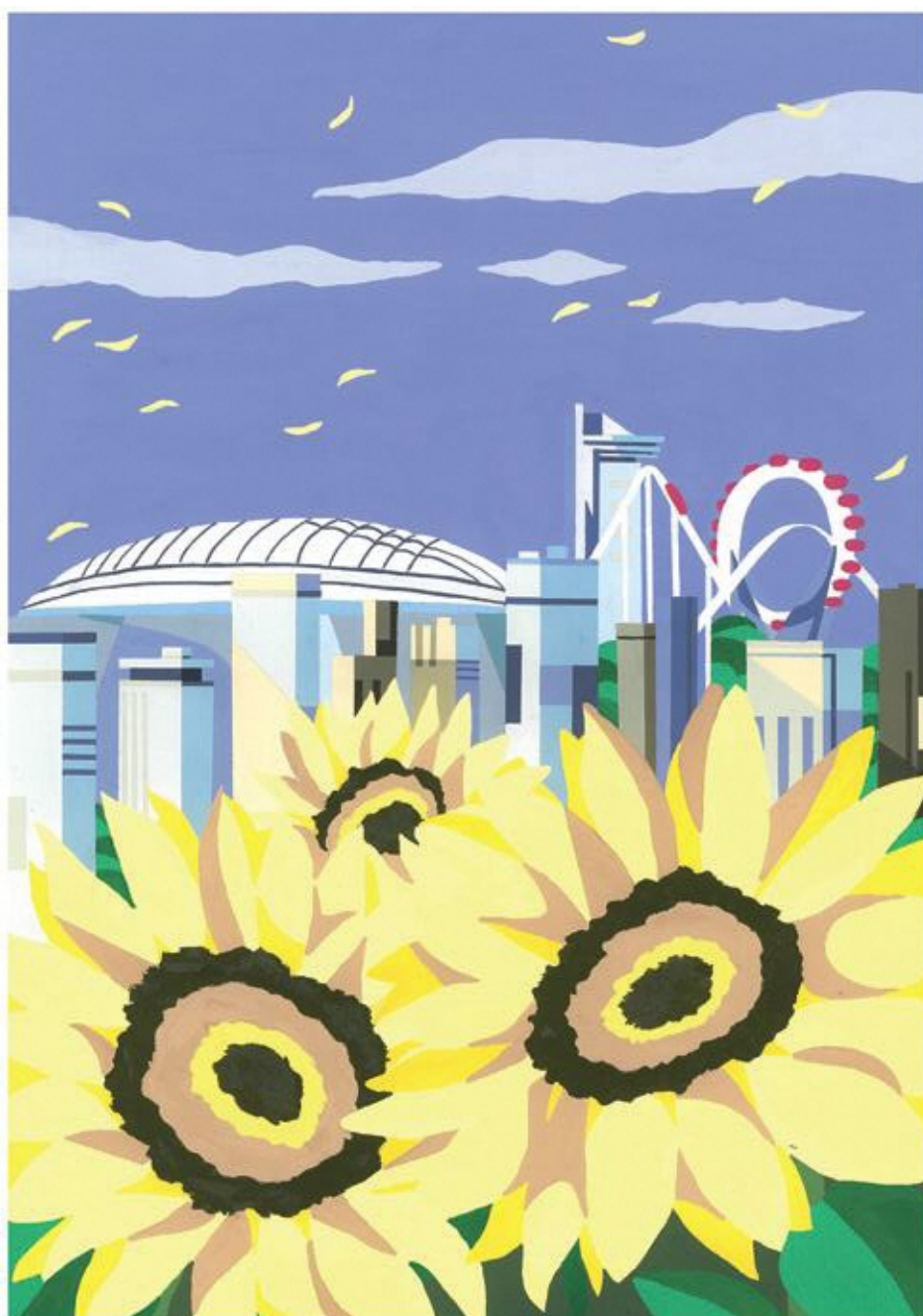
情報

更生の花は
慈愛の土に咲き



文京区保護司会

第72回 社会を明るくする運動



都立工芸高校 渡邊鈴乃さん
(文京区社会を明るくする大会のポスター・チラシに採用されました)

INDEX

第72回社会を明るくする運動	2
令和4年度文京区社会を明るくする運動	3
令和4年度文京区社会を明るくする大会 青少年の意見発表	4

令和4年度第I期定期研修	7
学校紹介 文京区立鶯籠町小学校	8
会務報告	10
更女だより	11
ホッと一息 あとがき	12

第72回“社会を明るくする運動”

東京都推進委員会委員長挨拶

日頃より各地域において、犯罪や非行の防止、更生保護などに御尽力されている皆様に、委員長として心から敬意を表し、厚く御礼を申し上げます。

「多様性と調和」というコンセプトの下、昨年開催された東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会は、成功裏に幕を閉じ、東京に大きなレガシーを遺しました。私たちは都市の持続可能な発展に向けて、このレガシーをさらに磨き上げていかなければなりません。「街」や「心」の段差が取り払われて誰もがいきいきと輝き、犯罪のない安全・安心に暮らせる東京の実現を目指します。

新型コロナウイルス感染症との闘いが長期化し、人々の孤独・孤立の問題が深刻化しています。誰一人取り残さない包摂的な社会を実現する上

で、犯罪や非行を防止すると同時に、罪を犯した人や非行歴のある少年等が孤立することなく更生して再出発できる社会を築くことが大切です。そのためには、多くの人々がそれぞれの立場で、安全・安心な地域社会の構築を進めていく必要があります。

東京都は、東京都再犯防止推進計画に基づき、民間団体並びに国及び区市町村の関係機関等と連携して、各種施策に引き続き取り組んでまいります。

“社会を明るくする運動”に携わる皆様におかれましても、この運動がより一層、充実・発展し、犯罪や非行のない社会を実現できるよう、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。力を結集し、明るい未来を創り上げてまいりましょう。

第72回“社会を明るくする運動”

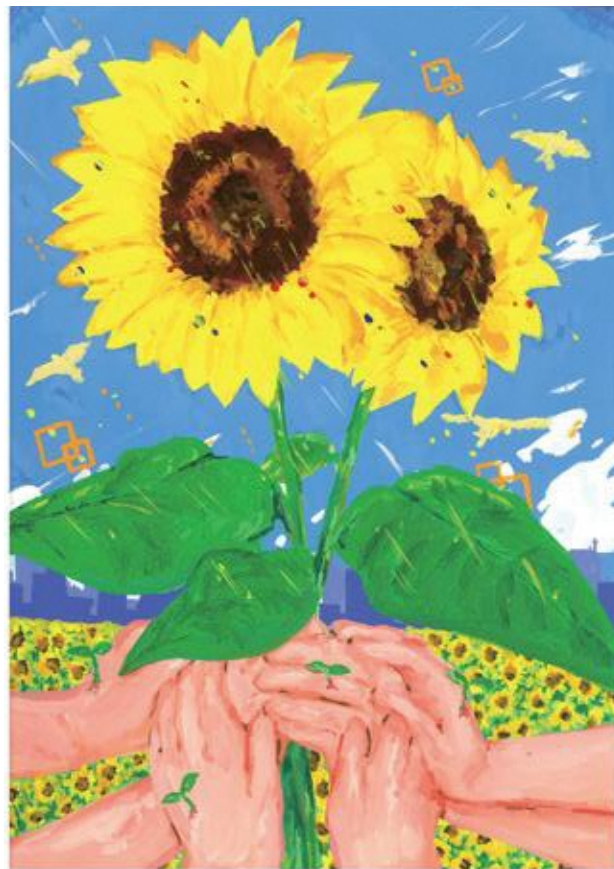
東京都推進委員会委員長 東京都知事 小池百合子



サラちゃん



ホゴちゃん

都立工芸高校
かたぐち さき
片口 早紀さん都立工芸高校 ふくしま はな
福島 葉夏さん
(文京区社会を明るくする大会のプログラム表紙に採用されました)



令和4年度 文京区社会を明るくする運動報告

地域活動部副部長 水上 幸夫

「社会を明るくする運動」は戦後の社会的混乱の時代、犯罪や非行のない明るいまちをめざし、銀座の商店街が「銀座フェア」として始めたのがきっかけになりました。昭和26年には法務府（現法務省）により、この運動が主唱され、今ではわが国でも屈指の規模を誇る国民的運動として定着し、今年で72回を迎えました。

文京区では、毎年7月が「社会を明るくする運動強化月間」であるとともに内閣府が主唱する「青少年の非行・被害防止全国強化月間」でもあることから、この運動の趣旨を一人でも多くの区民に伝え、より一層安全・安心なまちを実現するため、青少年の非行防止・健全育成に携わる関係30団体で構成された「文京区社会を明るくする運動推進委員会」を設置し、様々な活動を行っています。

恒例となっている「東京ドーム周辺広報啓発活動」を7月2日に計画準備し、間近まで実施の方向でいしましたが、6月下旬からの記録的猛暑が続く時期に重なり、参加者メンバーの健康安全第一に考え、止むを得ず中止の選択となりました。

「社会を明るくする大会」につきましては7月10日午後1時30分より区民センター2A会議室で行われました。

- 開会挨拶 文京区保護司会 亀田一良会長
- 主催者挨拶 文京区社会を明るくする運動推進委員長 成澤廣修文京区長
- 来賓挨拶 田中としかね文京区議会議長



亀田会長



成澤区長

【前半の部】

中学生3名による犯罪や非行のない明るい社会をつくるため、様々な視点で中学生ならではの意見発表をいただきました。

- ・「僕の友達」 第一中学校2年
- ・「七十八億人の笑顔」 第三中学校3年
- ・「見つめ直すとき」 第六中学校2年

終了後には、加藤裕一教育長より、総評をいただきました。

【後半の部】

生活困窮世帯の子ども向けの学習支援を中心に様々な活動をされているNPO(認定特定非営利活動)法人キッズドアの松見幸太郎様に「学習支援と居場所の必要性」というテーマで講演をいただきました。



松見幸太郎氏

文京区青少年健全育成会九地区連絡会 中島正一会長より、閉会のご挨拶をもって今年度の文京区社会を明るくする大会を終了致しました。

新型コロナウイルス感染防止を徹底した上での大会開催になりましたが、東京保護観察所嶋田華乃主任官始め、関係団体からも多くの方にご出席をいただき、盛り上がりのある大会になりました。また、今回、中学生意見発表や講演を通して、子どもたちが伸び伸びと生活できる環境づくりを大人の私たちが意識を高く持って協力し合う事が大切であることを感じる活動になりました。

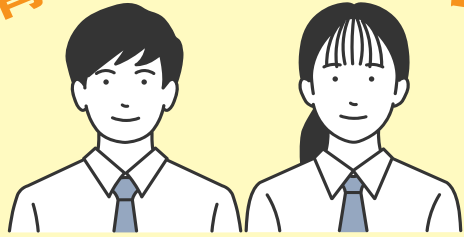


都立工芸高校
こくぶがた まこと
國府方 麻琴さん



都立工芸高校
さかした ゆうか
坂下 友香さん

青少年の意見発表



いてまで交番を探して、届けるだろうか。僕なら面倒くさい。手っ取り早くお店の人に預けること位ならするかもしれない。しかし、受け取った店の人が大切に保管しておいてくれるだろうか。こっそり自分のものにしても、証拠はないし、わからないと思う。財布が戻ってきて欲しいけれど、難しい気がした。「それで、財布は見つかったの？」友達の答えは「あった！財布。」僕はびっくりして、「え！」と言ったまま、開いた口が塞がらなかった。開いた口が塞がらない。と言う言葉を初めて使った。こういう時に使うと、みようにしっくりくる。友達は、驚いた僕の顔を見て、ニコニコしながら話を

続けた。「僕もね、びっくりしたんだけどね、ちゃんと戻ってきたんだよ。ゲーセンにいる人はね、オタクで優しい人が多いんだよね。」知らなかった。小学生の頃から長期休みの前に「子供同士で繁華街、ゲーセン等に行つてはいけません。」と刷り込まれてるから、きつとそこには、悪い人が沢山いるものと思ひ込んできた。もちろん、多少いるかもしれないから、警告があるわけで、大人は子供を守るために注意喚起してくれている。けれども、怖い人ばかりでなく、むしろ親切な人もいることがわかった。僕の偏見だった。自分が恥ずかしくなった。

友達は僕と同じ中二だ。小四ぶりに会った友達は中学校に通わずに、フリースクールに通っている。「中学校の制服は一度も着たことがないんだ。」僕の胸はチクリと痛んだ。僕の学校にも一度も登校していない子がいる。ずっと気になっているけど、何もできていない。

友達は僕のことを「毎日、学校に通っていて、凄い！」と言う。はつきり言って僕も自分のことを凄いと思つている。毎日、学校に行つて、週五で部活をして、塾にも行つて、生徒会もやって、水泳だつて続けている。この前、スイミングで念願のタイムをクリアして、大勢の人に褒めてもらい頑張つて良かったと思つたし、結果を出せた時は、こんなに清々しいのかと感動もした。しんどい時もあるけれど、楽しいと思えることの方がずっと多いし、当たり前と思つている。中学生が学校に毎日通うのは当たり前だし、普通だと思つていた。しかし、これも偏見だと気づいた。

けれども、そう言う友達こそ凄いなと思う。同じ十三歳なのに、自分の夢がある。将来、更に進んだ少子高齢社会、労働人口激減の中でも、友達の作るシステムによって今よりも豊かな社会になつていくかもしれない。難しくても理解できなかったが、友達には作りたい未来が見えているようだった。友達の友だちは、中二だけじゃなくて、中三、大学生、ニート、ヤングケアラー、サラリーマン、企業家もいるらしい。「年齢が違うけどね、僕らには上下がなく、横一線の友だちなんだ。一人の人として同等に話ができるの。」そんなことができる友達を心から尊敬する。おそろく彼らの中には偏見はない。僕の知らない世界と繋がりをもち、視野を広げ自分の糧にしている友達こそ凄いなだと思ふ。僕より大人っぽく見える友達はきつと精神的にも大人に近くて、大変なことも乗り越えようとしたり、乗り越えたりで強くなつていくようだった。友達の目は真っ直ぐに僕の目を見て、眩しいぐらいにキラキラと輝いていた。今の生活が充実していることを物語つていた。僕も嬉しくなつた。友達と僕は違う道を歩いているけ

僕

ね、財布をゲーセンでなくしたの。翌日に気付いて、ゲーセンに電話したんだ。」

財布をなくす、それもゲームセンターで。自転車の鍵を公園で無くすとはレベルが違うと思った。その財布にはお札も入っていたのだろうか。ゲームセンターに行くぐらいだから千円札が何枚か入つていても不思議ではない。ゲームセンターで財布を拾つたら、ゲームに使つてしまう人がいそうな気がした。運よく良い人に拾われても警察に届けるだろうか。ゲームを楽しんでいる人がわざわざ自分の時間を割

僕の友達

文京区立第一中学校 2年

がも う た く ま
蒲生 琢磨

友達は僕のことを「毎日、学校に通っていて、凄い！」と言う。はつきり言って僕も自分のことを凄いと思つている。毎日、学校に行つて、週五で部活をして、塾にも行つて、生徒会もやって、水泳だつて続けている。この前、スイミングで念願のタイムをクリアして、大勢の人に褒めてもらい頑張つて良かったと思つたし、結果を出せた時は、こんなに清々しいのかと感動もした。

友達は僕のことを「毎日、学校に通っていて、凄い！」と言う。はつきり言って僕も自分のことを凄いと思つている。毎日、学校に行つて、週五で部活をして、塾にも行つて、生徒会もやって、水泳だつて続けている。この前、スイミングで念願のタイムをクリアして、大勢の人に褒めてもらい頑張つて良かったと思つたし、結果を出せた時は、こんなに清々しいのかと感動もした。

れどそれぞれ充実した十三歳を生きている。

『社会を明るくする運動』について考えた時、僕は友達との関係を思い出した。僕たちは特別なことはしていないけど、お互いを認め合っている。ただそれだけで、僕たちの道は明るく照らされている気がした。この先、辛いことがあっても、きつと踏ん張れる。信じてくれる人がいる限り、裏切るような行為を犯すようなことはない。無意識でしてしまう偏見をなくすることも大切だ。いわゆる「多様性を認め合う」と言うことだろう。多様性を認め合う社会こそが、社会を明るくする運動の第一歩になると僕は考える。

もし、財布を拾ったら、持ち主に返るように届けようと思う。持ち主はきっと「良い社会だ。」と感じてくれるに違いないと思う。



七十八億人の笑顔

文京区立第三中学校 3年

はるしま ほのか
春島 穂花



ていますか？ジョギング中の黒人男性が白人男性三人に射殺されてしまう事件。私は、ネットの記事で初めて知りました。見た時は衝撃と苦しさで気持ちが溢れましました。なぜこのような事件が起きてしまうのか。私には理解ができません。日本では、人種差別の事件が少ないです。ですが、海外では、毎日差別的な行動をされ、苦しんでいる人が多くいます。私は、一人ずつでも少なくなることを願っています。

私の友達には以前、道に迷っていた黒人の男性を助けました。見た目だけで判断せず、困っているから助けるという思いやり溢れる行動をとった友達を尊敬したいです。私もそれが当たり前のように行動できる人になりたいし、友達のような人が世界中に増えてほしいと思いました。

みなさんは「十人十色」という言葉を知っていますか？

私はこの言葉がとても好きです。なぜなら「人はそれぞれ違うけど、みんな違ってみんないい」という考え方が今の世の中に必要な考え方だと思っただけです。肌の色が違うだけで、性自認が他人と違うだけで、性的標的になってしまふ今の世の中。自殺に追い込まれて、命を絶つてしまふことだってあります。さらには、親に反対をされて虐待をされてしま

うこともありまます。「自分の本当の気持ちを他人に話すことが怖い」「自分も同じことをされるのが怖い」という考えをしてしまつてありのままの自分を隠してしまう人達が沢山いると思います。自分自身でそれを乗り越えられ人もいますが、ごくわずかな少数の人だと考えられます。

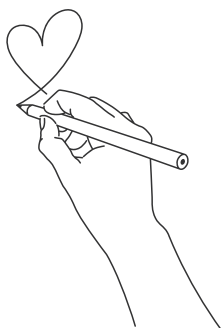
私は、前述した肌の色の違いだけでなく、性自認が他人と違うことも決して悪いことではないと思います。けれど、一部の人は差別をしたり偏見で他人を見たりする人もいます。もし、そのようなことを思っても口に出さないでほしいです。人それぞれの個性は違います。他人の個性を、変だと感じててもその個性に口を出す必要はないと考えたからです。

現在の世の中、性別や肌の色で差別をされ辛い思いをしている人々が、世間に何億万人もいると思います。心のない暴言や暴力をする人達が一人ずつでも少なくなればと思います。そして、世界中の誰もがありのままの自分を隠さず生きていけるようになれば良いと思います。私は、七十八億人全員が笑顔になれる日をずっと待っています。

人

種差別」私は、この言葉を聞いただけで鳥肌が立ちました。みんな同じ人間で同じ血が流れているというのに差別が起きている。肌の色が違うだけで、好きになる性別が同じなだけで、ひどい言葉をかけられないといけない。私には納得ができませんでした。そして、今でも差別を受け、辛い思いをしている人がいると考えると胸が痛みます。

世界では、肌の色による差別が現在も起きています。そのようなニュースを私も見たことがあります。ジョージア州で起きた事件を皆さんは知



「大

人から離れたら危ないよ。すぐに親のところに戻りなさい。」

小学2年生の時の話になる。両親と訪れた携帯電話ショップで、僕と4歳下の弟はたまたま居合わせた知らない女性に厳しい口調で怒られた。

場所は日本ではない。父の海外赴任で渡航した中国・北京でのことだ。

両親が現地の携帯電話の契約手続きをしている間、飽きてしまった僕と弟は親から離れて携帯電話ショップの出入り口の近くで遊んでいた。

日本にいた時もスパーなどで親から離れることは少なくなかったのですが、僕はこの時、「何で怒られたのだろう」と気分が悪かった。しかし、後で怒られた理由が分かった。

かつて中国では子供を誘拐して、人手不足の農村などにひそかに売る犯罪が相次いでいたという。

今では中国の治安はかなり良くなったが、それでも子供だけで外に遊びに行ったり、買い物に行ったりすることはできない。

携帯電話ショップで出会った女性は僕たちのことを心配して注意してくれたのだ。

「安全」に対する考え方は日本と、中国など海外とはだいぶ違う。

北京で僕は日本人学校に通っていたが、登下校は住んでいるマンションの敷地内から、学校の敷地内まで毎日、

見つめ直すとき



文京区立第六中学校 2年

あかま きよき
赤間 清毅



実際、両親とともに電車に乗ると毎回、「ここに座って。」と大人が席を譲ってくれる。レストランに行くときジュースやデザートサービスをしてくれることも多かった。

北京で過ごした4年弱、僕たち兄弟が中国で怖い体験をすることは一度もなかった。今も当時の日々は僕の中で楽しい思い出となっている。

僕がいま通っている中学校にも、中国をはじめ海外にルーツを持つ同級生がたくさんいる。いつもみんな力を合わせ、励ましあいながら学校生活を送る大切な仲間だ。

しかし、インターネットを見ると、中国や中国の人たちを批判したり、見下したりする声があふれている。

それを目にするたび、僕は悲しい気持ちになってしまう。北京で大勢の人に助けられ、いまでも優しい仲間たちと毎日を過ごしているためだ。

なぜ一方的に相手にレッテルを貼り、汚い表現でけなすことができるのか。

その原因は無知だからだと思う。相手のことや、周囲の事情や背景をよく知ろうとしないからだ。

北京の携帯電話ショップで僕たちのことを思ってくれた女性の親切な行為を、不快に思ってしまった、あの日の知識が浅かった僕と同じだ。

一方的にレッテルを貼りあい、ぎくしゃくすることは日本でもたくさんある。若い人たちとお年寄り、昔から住んでいる人と新しく引越してきた人、都会と田舎、男性と女性。

全てとは言えないけれど、ニュースやインターネットなどでよく見るいざこざの背景には、互いに知ろうとしないまま一方的に相手にレッテルを貼っていることがあると思う。

社会を明るくするためには、まずは相手のことを知ることから始めてみる。何か不快に思うことがあったら、「何か原因があるのだろうか」と探してみてもいい。

そうすれば、互いの間にある誤解が解消できるかもしれない。対立ではなく、手を取り合える方法を見つけられるかもしれない。

こうしたことを積み重ねていけば、一方的に相手にレッテルを貼ったり、汚い言葉で相手をけなしたりすることは、きっとなくなっていくはずだ。

そして、これはそんなに難しいことではないと思う。

だって僕はいま、海外にルーツを持つ同級生たちと毎日、仲良く遊んでいるから。

出身なんて気にしたこともない。僕は彼らがどういう人なのか知っているから。知ることから始めてみよう。

令和4年度 第I期定例研修

日時 令和4年6月16日(木) 午後2時半～
場所 文京区民センター 2A
講師 嶋田華乃 保護観察官



嶋田華乃氏

テーマ 「良好措置・不良措置について」

研修部 岡崎 礼子

講義

「良好措置」とは保護観察を中断させたり、終了させたりする措置で、保護観察対象者が遵守事項を守り指導監督・補導援護の必要がなく、社会の順良な一員として更生したと認められる場合に行われます。



また保護観察対象者が遵守事項を守らず、改善更生のために保護観察を継続することが困難と認められる場合に、矯正施設における施設内処遇に移行させたり、所在不明者が保護観察を受けないまま時間が経過するのを防止するために刑期の進行を止めたりする措置を「不良処置」と呼びます。

また成年年齢の引下げに伴う少年法の一部改正により、処遇時に18、19歳の少年を「特定少年」と位置付け、その少年に対する不良措置が新たに追加されました。

これらを踏まえ従来の良好措置・不良措置について確認するとともに特定少年に対する新たな措置についての理解を深めることを本研修の目的とします。

「良好措置」

良好措置を検討するための最低経過期間はおおむね6か月から1年で、保護観察対象者が健全な生活態度を保持し善良な社会の一員として自立し改善更生することができると認められる場合にとられる措置です。特定少年の保護処分対象者についても良好措置をとることができます。

良好措置の種類は、1号の保護観察処分少年においては解除、一部解除、2号の少年院仮退院少年については退院の申出、3号の刑務所仮釈放者

は不定期刑の終了の申出、4号の保護観察付執行猶予者には仮解除の申出の措置があります。

処遇区分がC区分の者が良好措置を検討するための最低経過期間を経過し、かつ遵守事項を遵守している期間が少なくとも3か月以上継続していることが措置をとることの必要条件の一つです。

「不良措置」

保護観察対象者が遵守事項に違反したときに検討します。矯正施設への収容を伴う不良措置の実施に当たっては、基本的人権を侵害することとならないよう、遵守事項違反の事実認定に必要かつ相当な限度において行うものとされています。少年法改正により新たに「収容決定申請」(1号の保護観察処分少年)及び「仮退院取消申出」(2号の少年院仮退院者)が特定少年に対する不良措置として追加されました。ただし新たに追加された「更生指導(6ヶ月の保護観察)」については不良措置はありません。

不良措置の種類は、1号観察の保護観察時18歳未満は警告及び施設送致申請、特定少年は収容決定申請、2号観察の保護観察時18歳未満は戻し収容申出、特定少年は仮退院取消申出、3号観察は保護観察停止申出及び仮釈放取消申出、4号観察は執行猶予取消申出の措置があります。

質疑応答がありその後、定例研修は終了になりました。

2年ぶりの定例研修会でしたが、それぞれが今後の保護司活動の糧にしていきたいと思います。

思いを生かせる学校を目指して

文京区立駕籠町小学校長 矢部 明美

駕籠

籠町小学校は、昭和三十三年に開校しました。その前身は大正十一年に開校した駕籠町尋常小学校で

す。しかし、昭和二十二年に戦火で校舎が全焼してしまい、疎開先から戻った子どもたちは、帰る場所をなくしてしまいます。一度林町小学校に引き揚げ、明化小学校に吸収されました。駕籠町尋常小学校は、そこで幕を閉じる

ことになりました。そこから十余年。地域の方々の熱い思いが実り、現在の第十中学校の校舎を借りて新しく駕籠町小学校がスタートしました。

地域の風土は、当時と変わらず、いつも温かく、愛情をもって学校と子どもたちを見守り支えてくださっています。そうした地域の愛情に育まれている本校の子ど

もたちは、明るく、素直で元気いっぱい毎日を過ごしています。令和四年度は、全校児童三七一名、十三学級でスタートしました。

全国一斉休校、時差登校などを経て、足掛け三年になる新型コロナウイルス感染症対策は今年度も続いています。この間、校内での感染症対策の徹底を行ってきました。マスクの着用の徹底はもとより、外したら話さない、

もたちは、明るく、素直で元気いっぱい毎日



運動会表現



運動会かけっこ

こまめに手洗いをする、大人数が集まることを避けるなどしながら、文京区のガイドラインに沿った形でその都度、できうる形を模索しながら教育活動を進めてきました。そして子どもたちがこうした学校での生活様式を身に付けるとともに感染症対策の中、これまでの活動について、新たな取り組み方が生まれてきました。

これまで、期間限定で登校時に代表委員会が行っていた『あいさつ運動』は、密を避け、環境ボランティア委員会と高学年のボランティアが毎朝校庭のポイントごとに立ち、全校児童に声をかけるようになりました。

代表委員会は、学校を自分たちにとつて過ごしやすい場所とするために、学期末の環境美化や、人とのよりよいかかわり方について考える取組を新たに始めています。

令和三年度には初めて、学級ごとに音楽会を実施しました。全学級『五分で感動してもらえる演奏になるように』という思いのもと、一年生から六年生まで、学級のまとまりもともに感じられる音楽会を行うことができました。また、今年度の運動会は入れ替え制で行い、令和二年度に改修した人工芝の校庭で各学年の表現演技と初めての徒競走を行うことができました。

いづれも感染症対策を行うことについて、新たな考え方を働かせ、子どもたちと、そして、子どもたちと教育活動をあきらめない教職員が、ともに作り上げてきた新しい伝統と言えます。

日本の伝統文化にふれる

特色ある教育活動として、全学年が日本の伝統文化にふれる体験活動を行っています。低学年では日本舞踊、中学年では落語や茶道、高学年では長唄や和楽器などの日本の音楽を実施しています。

それぞれ専門の講師を招聘し、各学年の段階に応じた活動や実技、また、日本文化に流れる「和の心」について、体験とともに学ぶ機会となっています。



茶道教室



長唄教室



日本舞踊教室

「教える」から「引き出す」へ

令和三、四年度文京区教育研究協力校として、研究主題「学びを紡ぐ児童の育成」のもと、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実と、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行っています。

子どもたちが、「やってみよう」「こうしたい」「こうしたい」「こうしたい」という思いから学習をスタートし、振り返りとともに自らの学びを自覚し、自分自身のための「学び」となることを目指します。そのためには一人一人の子どもたちの学びの在りようを、教師が丁寧に見取り、個々の学びに、または協働

的な学びの活動に必要な支援―伴走者として―を講じていくことが大切になります。

「教える」授業から「引き出す」授業

への意識改革とともに、教職員が子どもたちの学びを支える組織として、互いに切磋琢磨し、一枚岩となって日々研究を進めてまいります。

令和四年十一月十一日には、これまでの研究の足跡と積み重ねについて、研究発表会を行います。

地域の温かい思いに育まれながら、子どもたちが自らのよさや可能性を見出せる学校を目指して、これからも努力してまいります。



授業後の協議



グループで話し合う



協議のまとめ



自分で考えまとめる

会務報告

■令和4年度文京区社会を明るくする大会
令和4年7月10日(日) 13:30~15:40
於…文京区民センター2A
出席者…33名 更女13名 区職員9名
一般35名 合計90名

■正副会長会議
令和4年6月1日(水) 18:30~20:00
於…文京区民センター4A
出席者…7名
理事役員は6/23に大原地域活動センターとする
社明運動について
文京区福祉士会出席について(伊藤記)

令和4年7月1日(金) 18:30~19:30
於…文京区民センター4A
出席者…7名
社明運動中止について
社明大会実施に向けた計画について(伊藤記)

令和4年8月1日(金) 18:30~19:40
於…文京区民センター4A
出席者…5名
第二ブロック保護司組織運営連絡協議会準備会について
社明大会及省点について(伊藤記)

■文京区保護司会70周年事業実行委員会
令和4年7月13日(水) 18:30~19:30
於…大原地域活動センター
出席者…19名
令和5年の70周年記念誌、式典、祝賀会について検討
正副会長、各部長・広報・総務・会計が集まり第1回実行委員会とした(伊藤記)

■第1期定期研修
令和4年6月16日(木) 14:30~16:15
於…文京区民センター2A
出席者…33名
嶋田主任官による講義、良好措置・不良措置について(市川記)

■第二ブロック保護司組織運営連絡協議会準備会
令和4年8月25日(木) 14:00~16:00
於…北とびあ
出席者…3名
10月26日の協議会に向けての準備、打合せ(伊藤記)

■研修部会
令和4年5月26日(木) 18:00~20:00
於…文京シビックセンター4Fシルバホール
出席者…23名
特に新任者に向けての事例研修(市川記)

■地域活動部会
社会を明るくする運動ポスターの依頼
令和4年4月12日(火) 14:00~14:30
於…都立工芸高等学校
出席者…1名 区職員2名
社明運動、大会のポスターを依頼(関口記)

社明運動、社明大会区との打ち合わせ
令和4年4月15日(金) 7月5日(火)のうち10日間
於…文京シビックセンター11階
出席者…1名 他区職員2名
社明大会日程について(関口記)

社明大会 生徒意見発表の依頼
令和4年4月26日(火)・5月9日(月)・10日(火)
於…三中、六中、一中
出席者…1名 区職員1名
社明大会の生徒による青少年の意見発表の依頼(関口記)

社会を明るくする運動推進委員会
令和4年5月13日(金) 10:30~11:30
於…文京区民センター3A
出席者…3名 区職員6名、推進団体25名
社明運動と社明大会の日程、予算案の承認(関口記)

文京区立小学校PTA連合会長会に協力の依頼
文京区立中学校PTA連合会長会に協力の依頼
令和4年6月6日(月)・7日(火)
於…文京シビックセンターシルバホール
出席者…1名 区職員2名

社明運動、社明大会への協力の依頼(関口記)
東洋女子高等学校吹奏楽部演奏の依頼
令和4年6月16日(木)
於…東洋女子高等学校
出席者…2名 区職員2名
社明運動、ラクーアガーデンステージでの演奏依頼(関口記)

7月2日社明運動、中止連絡
令和4年6月30日(木) 15:00~16:00
於…文京シビックセンター11階
出席者…2名 区職員2名
各団体に中止連絡(関口記)

7月2日社明運動中止だが待機
令和4年7月2日(土) 15:20~16:20
於…東京ドームラクーアステージ横
出席者…7名
中止連絡が届かず来場するかを考慮し待機
しかし来場者は無し(関口記)

■広報部会
令和4年6月3日(金) 14:30~15:45
於…文京区民センター2C
出席者…7名
情報575号校正作業及び会議(山田記)

70周年記念誌第1回会議
令和4年7月27日(水) 18:30~20:00
於…文京区民センター2D
出席者…9名 亀田会長、西村副会長含む
70周年記念誌を発行するにあたり掲載内容を検討
60周年記念誌をベースに必要、不要なものを意見交換(山田記)

■ネットワーク部会
令和4年6月28日(火) 18:30~19:30
於…文京区民センター13B
出席者…16名
関連団体交流会、出前講座、三者懇談会について(今井記)

関連団体打合せ会議
令和4年7月27日(金) 14:00~14:45

於…文京シビックセンター22階会議室
出席者…3名 他2名、子ども家庭部長木幡氏、児童相談所準備担当課長佐藤氏
11月8日開催予定の関連団体交流会に令和5年に開設される児童相談所を取り上げ、木幡部長、佐藤課長と打ち合わせをした(今井記)

令和4年8月26日(金) 16:00~16:50
於…文京シビックセンター5階子ども家庭部
部見相準備打ち合わせ
出席者…2名 見相準備担当佐藤武大課長
企画書、講師派遣依頼書を渡す(今井記)

■富坂班会
令和4年7月21日(木) 18:30~19:45
於…文京区民センター3D
出席者…14名
学校担当者を決定
グループに分かれて事例研修
富坂班のLINEグループを作成(竹原記)

■大塚班会
令和4年7月22日(金) 18:00~19:15
於…大塚地域活動センター
出席者…10名
事例等、活動の報告、協議
班内の検討事項につき協議(西川記)

■保護司が参加した行事
東京都保護司会連合会・第3委員会
令和4年6月6日(月) 13:30~15:30
於…東京保護観察所集団処遇室
出席者…1名 他区保護司10名
顕彰式典・ブロック協議会について
他区保護司会の諸問題・ICT化について(亀田記)

文京区更生保護女性会定時総会
令和4年5月23日(月) 13:30~14:30
於…文京シビックセンタースカイホール
令和3年度事業報告・決算
令和4年度事業計画・予算について(亀田記)

文京槐の会第1回理事會
令和4年5月27日(金) 10:00~11:15
於…文京シビックセンター障害者会館B
令和3年度の事業報告・決算について(亀田記)

事務担当者運営連絡協議会
令和4年6月3日(金) 13:30~15:00
於…サポートセンター
出席者…2名
令和4年度事務関係内容を、総務・会計がZoomで視聴し掌握(伊藤記)

保護司特別研修
令和4年6月8日(水) 13:30~16:00
於…東京保護観察所集団処遇室
事例研究の進め方について(伊藤記)

文京区民生委員推薦会
令和4年6月23日(木) 11:00~11:30
於…文京シビックセンター2104会議室
改選される人と新規任命される人の審議(亀田記)

文京区福祉士会講演(Zoom開催)
令和4年6月24日(金) 18:00~20:00
於…文京区保護司山田宅「ひいふうみい」
出席者…3名 他8名
亀田会長：文京区保護司会の説明
山本副会長：サポートセンターの説明
伊藤総務部長：事例等、面接に関わる体験説明(伊藤記)

駒本小学校運営連絡協議会
令和4年4月26日(火)・6月28日(火)
於…駒本小学校多目的室、各教室、家庭科室
出席者…3名
学校運営及び児童の日常生活について報告
保護司会等の情報、意見交換、授業見学、給食試食(武智記)

文京第九中学校運営連絡協議会
令和4年5月14日(土) 9:00~10:30
於…九中会議室
出席者…2名
学校運営及び児童の日常生活について報告
地域代表者との情報、意見交換(武智記)

新任保護司

令和4年9月1日付

富坂班 岩本祐輔氏

「社会を明るくする大会」に参加して

本富士地区 徳埜 良子



例

年にない早い梅雨明け、猛暑の続く7月10日(日)「令和4年度文京区社会を明るくする大会」が文京区民センターで開催されました。万全な新型コロナウイルス感染症予防対策がなされた会場、壇上に活けられたヒマワリの花にウクライナの現状に思いを馳せていました。

青少年の意見発表では、信頼で友情がより深まった、レッテルを貼らないことが偏見を持たないこと、多様性を認めること、各々の思いが伝わってくる素晴らしい発表でした。彼等の成長の源泉となることでしょう。

NPO法人キッズドア松見幸太郎氏の講演は、15年前に発足し、日本の子供の貧困、低所得家庭の学習指導、

進学支援等、すべての子供達が希望を持てる様にとの思いでパワフルに活動されていることに感銘を受けました。

日々なにかと厳しい状況下、今回大会に参加させて頂けたことに感謝申し上げます。

更生保護施設への協力

文京区更生保護女性会会長 時田 千里



「男

の料理教室・カレーづくり」は東京実華道場ステップ竜岡と更女が

協働でおこなう事業で平成27年10月より始まりました。

年2回、各地区が順番で担当し施設の皆さんや職員の方達と調理しています。途中、東洋大学の学生さんやBBSの方達の参加もありましたが、その後、施設内の許容スペース等の関係で現在は更女のみに参加になっております。

当初は調理器具や食器類、食材など全て見当もつかず苦慮しました。はじめて包丁を使ったり、お米を研いだり全員でおこない、カレーが煮えるまでの間はゲームや歓談をしたり、時には職員の方の演芸もあり大好評でした。カレーを参加者全員でいただき温かく楽しい時間を皆さんと共有することができました。

近年のコロナ禍で2年間のうち1回は施設でおこない、あと1回はお弁当をつくりお届けすることができました。

今年度は7月に予定をしていましたところ、再度東京が感染者数の大拡大によりやむなく中止となってしまいました。楽しみにして待っていた施設の皆さんには申し訳なく、更女としてもとても残念に思っております。

コロナが少しでも早く落ち着いて、再度施設の皆さんと料理教室でお目にかかれることを願っております。





駒込班 中屋文孝

私のホッと一息は、ロサンゼルスに居る長女の子供（産まれたての初孫）の顔を見ながら成長を見届ける事です。話を少し前に戻すと、家内と次女・長男は、早々にロサンゼルスに泊まり込みで、初出産に備え家事などお手伝いにアメリカへ行き、気がつくとなったひとりで生活する毎日。

最初は、最後の事を考え訓練と思えばヘッチャラさーなんて強気でいたが、1ヶ月・2ヶ月経つと妙に寂しくなるものだ。テレビ電話で掛かって来る初孫の顔を見ながら、おじいちゃんだよーと満面の笑みで対応するも、テレビ電話では温もりも実感が無く、早くアメリカへ会いに行く以外にないの

だが、現在は参議院議員選挙の真つ只中。

私は、自民党全国比例区候補者の東京選对本部長として責任があり、楽しみは後に決めたのです。きつとこの先、家族からはずーと初孫に会いに行けなかつた事を言われるだろうが、ここは一つ一つ結果を出して、孫の顔見ながらホッと一息…頑張つて行こうと決めました。

皆さんは、この様な場合、どちらを選びますか…？



大塚班 堀内由美子

百円ショップで、加圧式霧吹きなるものを買った。2ℓのペットボトルが即、水鉄砲のようになる。欲しくて買ったものの使う場所がなく、しばらく引き出しにしまっていた。

七月の夏休みに入ったばかりの

日曜日。久し振りに町会主催の防災訓練が行われた。その前日の夕方、ふと思いついて引き出しを開け、ペットボトルとタオルを持って、会場になる公園へ向かった。

早速セットして泥で汚れた防災倉庫めがけて噴射!! 百円にしてはなかなかの威力。仕上げは、やはり人の手。襲い来る蚊もなんのその。高い所は竹箒に雑巾を巻きつけて擦り、やがて何とか元の姿に。というか、元に近い姿に。

ああ疲れた。でも誰も気付かないだろうな。いいの、いいの。大いなる自己満足。一つの善意は、九つの無関心に支えられているのよ。涼しくなった公園で、ホッと一息。

翌朝、夫が「綺麗になったね。」とコソツと言った。



あとがき

年々過ごしやすいや秋が短く感じられ、今年も6月から30度を超える暑さになりマスク着用の有無も語られるも、コロナも少し落ち着いたと思われたら過去最高の感染者を更新する状況になってしまいました。

慣れてきたとはいえこの暑さではマスク着用も大変な状況では有りますが、きちんと着用している方が大勢見受けられます。現在の状況では一人一人が気を付けるしかないのかもしれない。「止まない雨はない」と願い、今はぐっと辛抱し明るい未来を待ちたいと思います。

このような大変な状況の中でも快く御寄稿下さり感謝申し上げます。皆様のご協力がなければ本誌を発刊する事は出来ません。広報部一同少しでもお役に立てるよう今後共鋭意制作してまいりますので宜しくお願い致します。

市原 功

〈広報部〉 森山 堀内 山田 大橋 時田
米岡 浅川 根尾 岡崎 西川
塩川 市原

情報 第五七六号

編集 文京区保護司会 広報部
発行人 文京区保護司会会長 亀田一良
事務局 文京区春日一―一六二―一
文京区役所福祉政策課内
企画・宣伝協同組合
印刷所 エコフィールド事業本部